

# 大会規定

## 1. 大会形式

- (1) 本大会にエントリーしたチームによる予選ラウンド実施後、順位決定戦で順位を決定する。尚、最終順位は翌年の新人戦に反映する。
- (2) 組合せは、U13 北信越リーグ、県リーグの参戦チームを振り分け、その他は大会本部の責任抽選にて決定する。
- (3) 試合時間は、60 分(30 分-7 分-30 分)とする。尚、順位決定トーナメントは試合時間内に勝敗が決しない場合、試合が終了してから 3 分後にペナルティーシュートアウト（PK 戦）方式により勝敗を決する。
- (4) リーグ戦での実施の場合は、各ブロックの順位決定は以下の通りとする。
  - ① 勝点 勝ち=3 点 引分け=1 点 負け=0 点とし勝点の多い方を上位とする。
  - ② 勝点と同じ場合は、当該チーム同士の得失点差で多い方を上位とする。
  - ③ 当該チーム同士の勝点及び得失点差が同じ場合は、当該チーム同士の総得点の多い方を上位とする。
  - ④ 当該チーム同士の勝点及び得失点差並びに総得点と同じ場合は、抽選により決定する。
- (5) セミマルチボール方式を適用し、効率的な試合運営を行う。

## 2. 競技規則

日本協会発行の「2024/2025 年サッカー競技規則」による。

## 3. 審判

- (1) 本大会の審判は、日本協会に登録した審判員にて行う。
- (2) 審判は、参加チームの帯同審判員で行う。よって、各チーム必ず 2 名の審判員を登録すること。
- (3) 主審及び第 4 の審判員は 4 級以上の成人とし、副審は選手可とする。
- (4) 試合開始の 5 分前には選手確認及び用具チェックを行う。
- (5) 審判証のチェックは、会場本部の競技運営担当チームが行う。
- (6) 審判員は、試合終了後、「審判報告書」に氏名や必要事項を正確に記入すること。また、主審は、「公式記録」の内容を確認し、主審署名欄へサインを行うこと。
- (7) 主審は、警告・退場があった場合は「重要事項報告書」へ必要事項を正確に記入すること。

## 4. 選手及び役員の登録

- (1) 選手 30 名以内、役員 7 名以内とする。但し、試合毎にベンチに入れる人数は、登録選手全員、役員 5 名以内とする。

## 5. 代表者ミーティング

- (1) 試合前の代表者ミーティングは実施しない。但し両チームにてユニホームの色を決定しておくこと。
- (2) 代表者は、メンバー表 3 部及び選手証を提出すること。
- (3) メンバー表においては、先発する選手の背番号に○、ベンチ入りしない選手は取り消し線を引くこと。また、ベンチ入りする役員に順位を付け、ベンチ入りしない役員は取り消し線を引くこと。尚、役員の順位づけについては、監督を「1」とし、事情により監督がベンチ入りできない場合は、それに次ぐ役員を「1」とすること。

(4) 試合終了後、両チーム代表者と審判団を含めミーティングを行う。(審判レベルの向上、育成を目的とする)

## 6. ユニフォーム及び用具

- (1) ユニフォームの色は、本大会に登録したものを着用すること。以降の変更は認めない。
- (2) フィールドプレーヤー・ゴールキーパーともに正副で異なる色のユニフォームを携行すること。
- (3) シャツの色彩は、審判が通常着用する黒色と明確に判別出来るものでなければならない。
- (4) アンダーウェアについては、シャツの袖やパンツの裾から出る場合は、チームで同一色でなければならない。
- (5) ソックステープやセパレートタイプのソックス等を使用する場合は同系色のみとする。
- (6) チームのキャプテンは、アームバンド（キャプテンマーク）の着用を義務づける。

※ただし、着用するアームバンドはチームが以前から使用しているもので可とする。(単色で『C』などの文字が入る)と

いうものにこだわるものではない。

- (7) ユニフォームに広告を掲示する場合は、日本協会の「ユニフォーム規定」に基づき承認された場合のみ認める。但し、ユニフォーム広告掲示により生じる会場等への広告掲示料等の経費は当該チームにて負担すること。また、ユニフォーム広告掲示を承認されたことが証明出来る内容のものを大会期間中は携行すること。

## 7. 試合球

### 【クレ－会場】

- ・各チーム 2 球用意すること。

※ペレーダ 4000 (F5K4000) /ヴァンタッジオ 4000 (F5N4000) /アルムンド土用 (FT551D-GR)

または、それと同等以上のもの。

### 【芝会場】

- ・クラブユース連盟よりオーシャンズコンペティション、コネクト 24 コンペティションを 4 球用意する。

## 8. 選手確認及び用具チェック

- (1) 試合開始の 5 分前から行う。
- (2) 先発選手は、試合開始前に審判団から選手確認及び用具チェックを受ける。
- (3) 交代選手は、交代する前に第 4 の審判員から選手確認及び用具チェックを受ける。

## 9. 選手交代

- (1) 登録された交代選手全員の交代を認める。但し、再入場は出来ない。
- (2) 選手交代の回数は、1 試合 3 回までとする。尚、1 回に交代する人数は問わない。
- (3) ハーフタイムの選手交代は、交代回数に含まれない。
- (4) メンバー表提出後、試合開始時間までの間にケガ等特別な理由により先発登録された選手が当該試合に出場することが出来ない場合は、先発登録された選手の変更を認める。なお、この場合の措置は選手交代に当たらない。また、当該選手はその試合に交代選手としてベンチに入ることを認める。

## 10. 脳震盪による交代（再出場なし）の追加

- (1) 脳震盪の疑いがあり選手交代となる場合は、後半の交代回数（3 回）には含まず、「脳震盪による交代（再出場なし）」として 1 回追加することが出来る。
- (2) 交代人数については変更なし。
- (3) 「脳震盪による交代で入る交代要員」が使われた場合、相手チームは、（脳震盪に限らず）いかなる理由であっても「追加の交代要員」を使うことが出来る。

その他、原則、進め方、交代回数、審判員などの詳細、対応については 2024/2025 サッカー競技規則「脳震盪による交代（再出場なし）」の追加：実施手順を熟読しておくこと。

## 11. 警告・退場

- (1) 大会期間中に警告の累積が 2 枚になった選手は次の 1 試合に出場できない。
- (2) 1 試合中に退場を命じられた選手は、グラウンドの外に出ること。また、退場を命じられた選手は、次の 1 試合に出場できない。尚、それ以降の措置については県協会規律委員会にて決定する。
- (3) 退場選手及び監督またはコーチ並びに主審は、試合終了後ヒアリングを行う。

## 12. 荒天、雷、地震、濃霧、その他不可抗力による試合の中断・中止

- (1) 荒天による大会の開催の有無は、大会委員長及び本連盟競技委員会において協議の上、決定する。但し、雷及び地震並びに濃霧による中断の判断は各会場で行い、その後の措置は、大会委員長及び本連盟競技委員会において協議の上、決定する。その場合、抽選の可能性を否定できない。
- (2) 勝敗については、県協会 3 種委員会が定めるものにより、以下の通りとする。
  - ① 試合開始～前半終了時：中断してから 1 時間後に試合が再開できない場合は、ペナルティーキック方式により勝敗を決する。

- ② ハーフタイム～後半終了時：試合終了とし、その時点で試合成立とする。勝敗が決していない場合は、ペナルティーキック方式により勝敗を決する。

### 13. その他

#### (1) ピッチ内公式練習

- ① 第1試合においては、各会場の指示に従う。
  - ② 第2試合以降においては、前の試合終了後から試合開始の5分前の用具チェックに遅れない時間までとする。
  - ③ ハーフタイム中のピッチ内練習については、当該チームのみとする。
- (2) 交代選手のウォーミングはボールを使わず、ベンチ後方にて行うこと。なお、ベンチ後方が狭い等、ウォーミングアップを行うのに十分なスペースがない場合は、本部の指示に従うこと。
- (3) 交代用紙は記入漏れが無いように、かつ、選手の氏名及び背番号、監督の署名を正確に行うこと。また、交代によりフィールドを退く選手は、近くのタッチラインより背番号を見せて速やかに退き、ベンチではユニフォームではない衣服及び決められたピブスを着用すること。
- (4) 選手の装飾品については全て禁止とする。また、医療用の固定具等において、審判が危険であると判断した場合は、それらを外さなければ試合に出場することは出来ない。なお、それらを外して試合に出場する場合、該当選手が試合開始時間に間に合わなくても試合を開始する。
- (5) チームベンチは、対戦表の左側に記載されているチームを、会場の本部からグラウンドに向かって左側のベンチとし、対戦表の右側に記載されているチームを、同様に右側のベンチとする。
- (6) 大会期間中の負傷については、応急処置を含め、全て各チームの責任において行うこと。なお、大会参加者は、健康保険証を携帯すること。
- (7) 各チームは、大会参加前にチームの選手の保護者及び応援者に対して、マナー遵守について指導をしておくこと。また、応援及び観戦は、原則としてベンチの反対側とする。
- (8) 全会場のグラウンド内は禁酒、禁煙とする。喫煙は指定された特定の場所にて行うこと。
- (9) トイレ、水飲み場はきれいに大切に使用すること。
- (10) ゴミの後始末は各チームの責任において行うこと。
- (11) 本大会において、ウェルフェアオフィサーを配置する場合がある。
- (12) 本規定に記載されていない事項については、大会委員長及び本連盟競技委員会において協議の上、決定する。
- (13) 大会要項及び本規定に記載されていない不合理な事象が発生した場合は、本連盟の理事会において協議し、その後の措置を決定する。